

第23回品川区世論調査について

1 目的

世論調査は、区政に対する区民の意識や意向を把握し、今後の施策の資料とするため、昭和49年から2年に一度実施している。

2 調査の概要

- (1) 調査項目 経年変化を見る「定住性」「重点施策」などの項目に加え、「長期基本計画」、「ごみ減量・リサイクル」、「オリンピック・パラリンピック」、「防災」など13分野41問
- (2) 調査対象 区内在住の20歳以上の男女 1,500人
(20歳以上 335,116人。平成30年6月1日現在)
- (3) 抽出方法 層化2段無作為抽出法
※品川、大崎、大井、荏原、八潮の5地域を基本に8地域に層化し、地域の人口比に応じて地点数を比例配分する。
- (4) 調査方法 調査員による個別面接法
対象者に調査予告のハガキを送付、専門調査員が訪問
- (5) 有効回答数 1,068人
男性540人(50.6%)・女性528人(49.4%)
- (6) 回収不能数 432人
転居(20)・不在(313)・拒否(95)・住所不明(2)・その他(2)
- (7) 回収率 71.2%
- (8) 調査期間 平成30年6月22日～7月20日
- (9) 調査機関 株式会社タイム・エージェント

3 所要経費 4,082,400円

4 報告書の発行

- (1) 「第23回品川区世論調査報告書」 500部
- (2) 概要版「第23回品川区世論調査あらまし」 4,000部
概要版「第23回品川区世論調査あらまし」(英語版) 100部

5 周知

広報しながわ3/1号、区ホームページ掲載、区政資料コーナー・地域センター等で概要版を配布

第23回

品川区世論調査 あ ら ま し

この小冊子は、2018（平成30）年に実施した「第23回世論調査」の要約版です。今回は、経年変化をみる定住性や重点施策などの項目に加え、長期基本計画、読書と図書館利用についてもたずねました。調査の結果は、今後の区政運営にあたり貴重な資料として活用してまいりたいと考えております。

ご協力いただきました区民の皆様には、心より御礼を申し上げますとともに、調査結果の概要をお知らせいたします。

調査の内容

- 1 定住性について
- 2 生活環境について
- 3 重点施策について
- 4 品川区長期基本計画について
- 5 区議会について
- 6 地域活動への参加について
- 7 環境について
- 8 ごみ減量・リサイクルについて
- 9 オリンピック・パラリンピックについて
- 10 防災について
- 11 読書と図書館利用について
- 12 広報と情報化について
- 13 シティプロモーションについて

調査概要

- 調査対象：品川区在住の満20歳以上男女個人
（平成30年6月1日現在）
- 抽出方法：層化2段無作為抽出法
- 対象者数：1,500人
- 調査方法：調査員による個別面接聴取法
- 回収数：1,068人
- 回収率：71.2%
- 調査期間：平成30年6月22日～7月20日
- 調査機関：株式会社タイム・エージェント

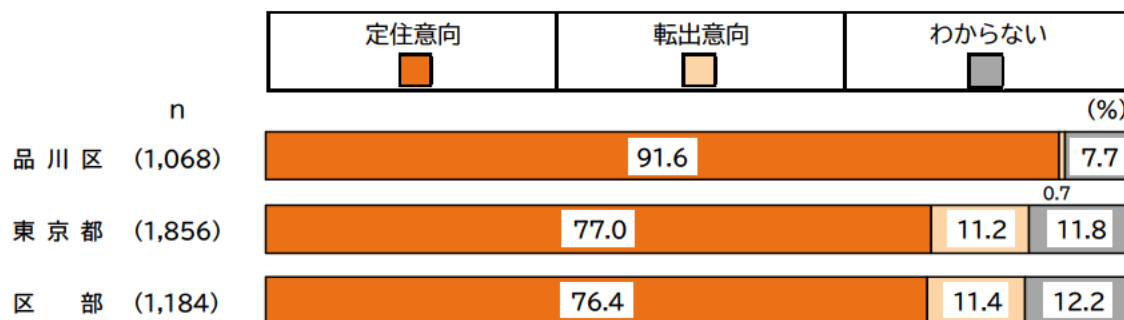
この要約版は、世論調査の結果を抜粋し、わかりやすくまとめたものです。詳しい調査結果は、第23回世論調査として区公式ホームページと、区政資料コーナー（第三庁舎3階）または、図書館で閲覧することができます。

1 定住性について

■ 定住意向

区民の定住意向は高い

定住意向をたずねたところ、これからも引き続き品川区に「ずっと住みたい」(45.2%)と「当分は住みたい」(46.4%)を合わせると91.6%で、定住意向は非常に高い水準となっています。また、東京都、区部との比較でみると、東京都より14.6ポイント、区部より15.2ポイント高くなっています。



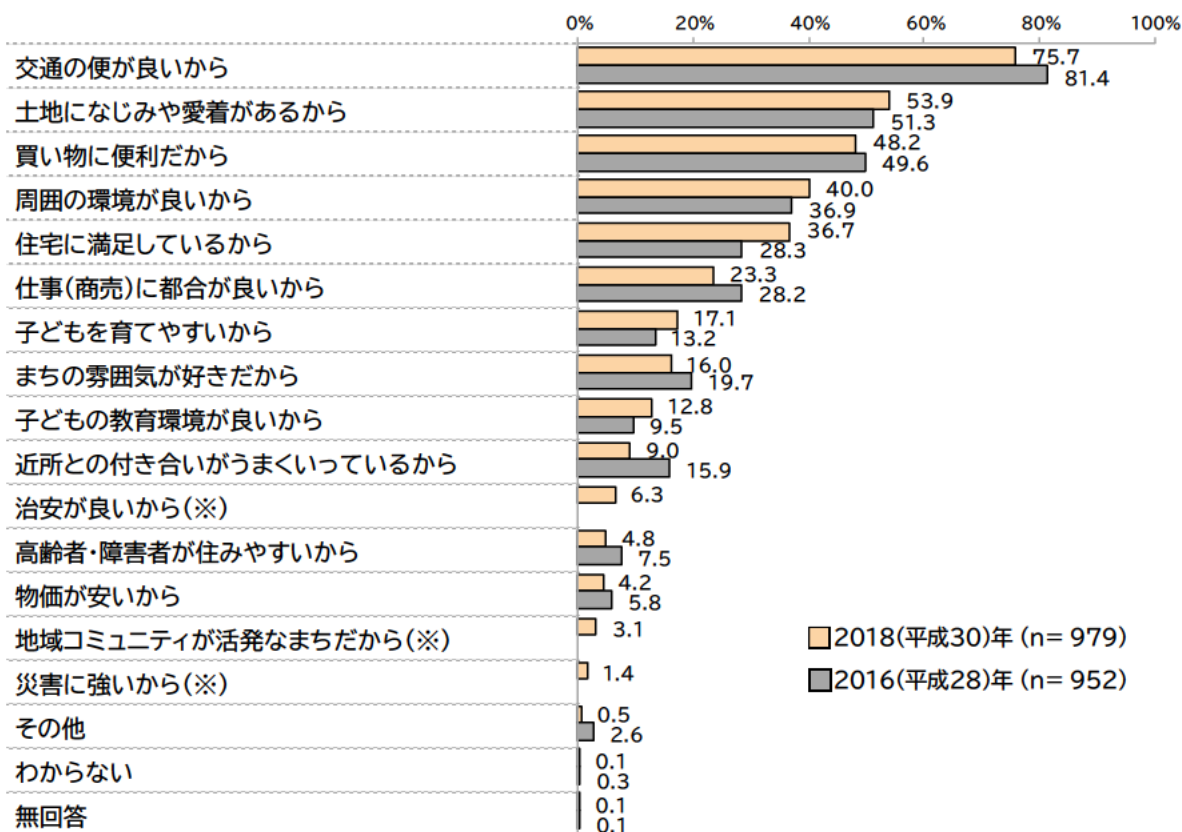
※注 意 点:東京都と区部は地域定住意向の調査結果

資料出所:東京都生活文化局「都民生活に関する世論調査」(平成30年)

■ 定住意向理由

交通の便が良いという理由が上位に

品川区に「ずっと住みたい」「当分は住みたい」と思う理由は、「交通の便が良いから」が75.7%と最も高く、次いで「土地になじみや愛着があるから」(53.9%)、「買い物に便利だから」(48.2%)などの順となっており、地理的な利便性や土地へのなじみ・愛着が大きな理由となっています。



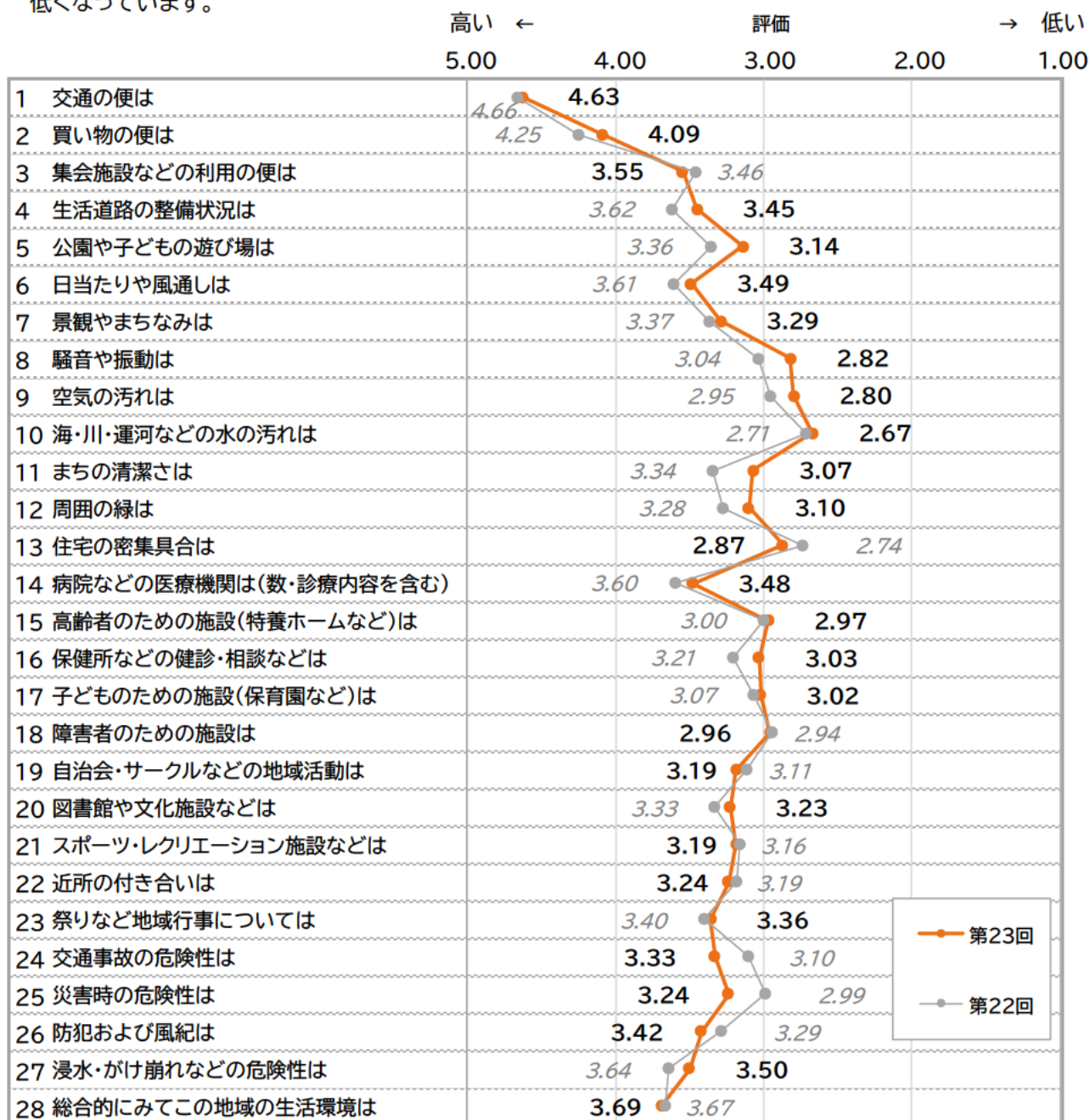
(※)は2018(平成30)年調査より追加した項目

2 生活環境について

■ 生活環境についての評価

交通や買い物の便での評価が高く、環境面での評価が低い

生活環境を評価点でみると、「交通の便」や「買い物の便」といった利便性に関する項目の評価が高く、「騒音や振動」「空気の汚れ」「海・川・運河などの水の汚れ」といった都市・生活型公害に関連する項目の評価が低くなっています。



評価点＝(「良い」の回答者数×5点＋「やや良い」の回答者数×4点＋「普通」の回答者数×3点＋「やや悪い」の回答者数×2点＋「悪い」の回答者数×1点)÷回答者数

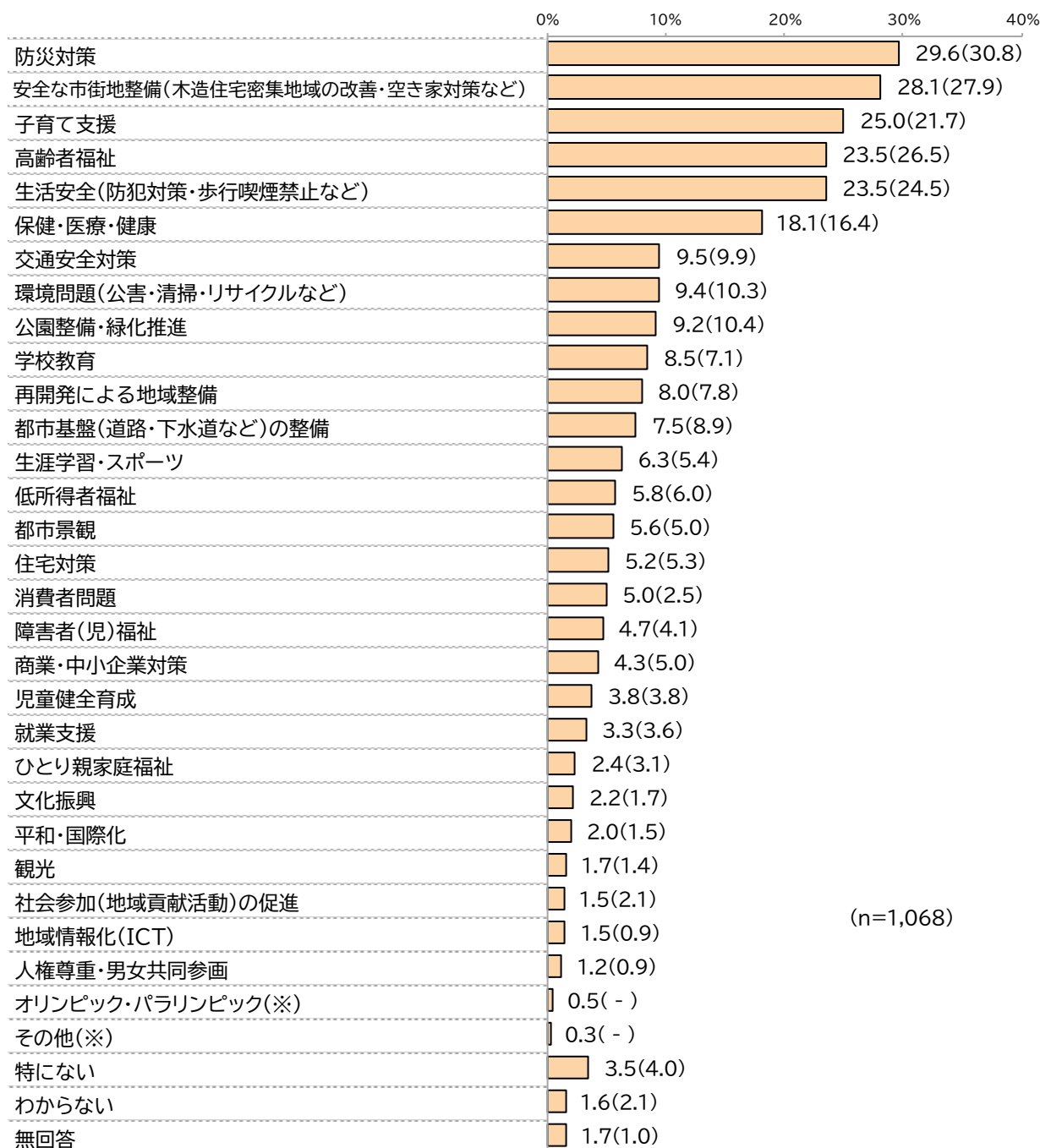
図中、黒字は2018(平成30)年の評価点を、灰色(斜体)は2016(平成28)年の評価点を示します。

3 重点施策について

■ 今後特に力を入れてほしい施策

「防災対策」、「安全な市街地整備（木造住宅密集地域の改善・空き家対策など）」、「子育て支援」が上位3項目

区の施策の中で、今後特に力を入れてほしい施策は、「防災対策」が29.6%と最も高く、次いで「安全な市街地整備（木造住宅密集地域の改善・空き家対策など）」（28.1%）、「子育て支援」（25.0%）、「高齢者福祉」「生活安全（防犯対策・歩行喫煙禁止など）」（同率23.5%）の順になっています。



（※）は2018（平成30）年調査より追加した項目

表中の（）内の数字は2016（平成28）年調査の値（n=1,070）

4 長期基本計画について

■ 新計画の策定にあたり、重視すべきだと思う取り組み

【各分野のトップ項目】

『生涯学習・スポーツ活動、文化振興や人権尊重』……………	「生涯スポーツ施設の整備」(36.0%)
『品川区の産業』……………	「技術・技能の継承支援」(30.7%)
『乳幼児から青少年までの子どもの成長支援』……………	「多様な保育サービスの展開」(51.5%)
『健康・医療分野』……………	「救急医療体制の充実」(47.4%)
『高齢者や障害者を支える福祉分野』……………	「高齢者の就労の場の確保」(54.3%)
『水・みどり・環境および景観』……………	「清潔なまちづくり」(52.7%)
『まちづくり』……………	「歩きやすい道路環境づくり」(35.1%)
『安心・安全を見守る地域社会やコミュニティ』……………	「地域でのサポートの充実」(35.6%)

(n=1,068)

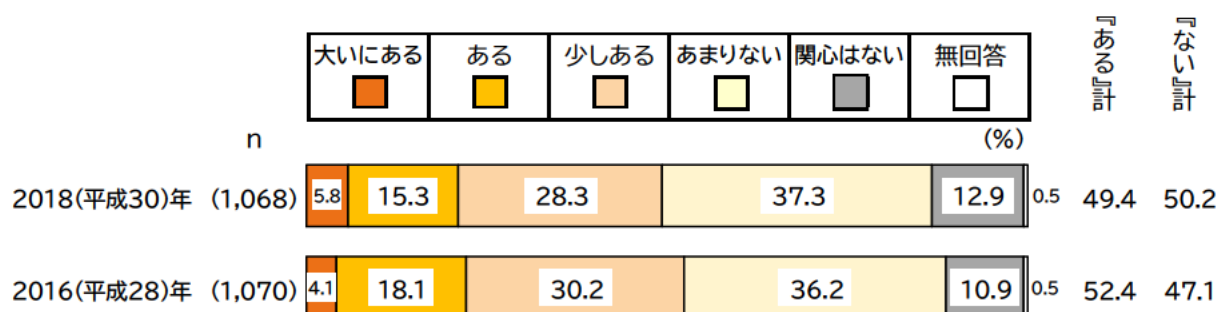
分野	重視すべきだと思う取り組み(上位3項目)		
生涯学習・スポーツ活動、文化振興や人権尊重	生涯スポーツ施設の整備	生涯学習施設の整備	情報の収集や提供
	36.0%	27.2%	21.8%
品川区の産業	技術・技能の継承支援	中小企業に対する労働力(人材)の確保支援	技術力向上、新製品・新技術開発の支援
	30.7%	26.5%	24.4%
乳幼児から青少年までの子どもの成長支援	多様な保育サービスの展開	待機児童対策の推進	小児医療・救急医療体制の整備
	51.5%	43.1%	27.6%
健康・医療分野	救急医療体制の充実	健診の充実	こころのケアの充実
	47.4%	31.7%	24.4%
高齢者や障害者を支える福祉分野	高齢者の就労の場の確保	生きがいづくり活動の充実	入所・入居介護福祉施設等の整備
	54.3%	35.1%	34.9%
水・みどり・環境および景観	清潔なまちづくり	水辺・みどり空間の整備	省エネルギーへの取り組みの推進
	52.7%	50.5%	30.4%
まちづくり	歩きやすい道路環境づくり	木造住宅密集地域の解消	交通利便性の向上
	35.1%	31.0%	28.8%
安心・安全を見守る地域社会やコミュニティ	地域でのサポートの充実	防犯活動への支援	要配慮者支援体制の充実
	35.6%	31.6%	26.5%

5 区議会について

■ 区議会への関心

関心の『ある』人は約5割

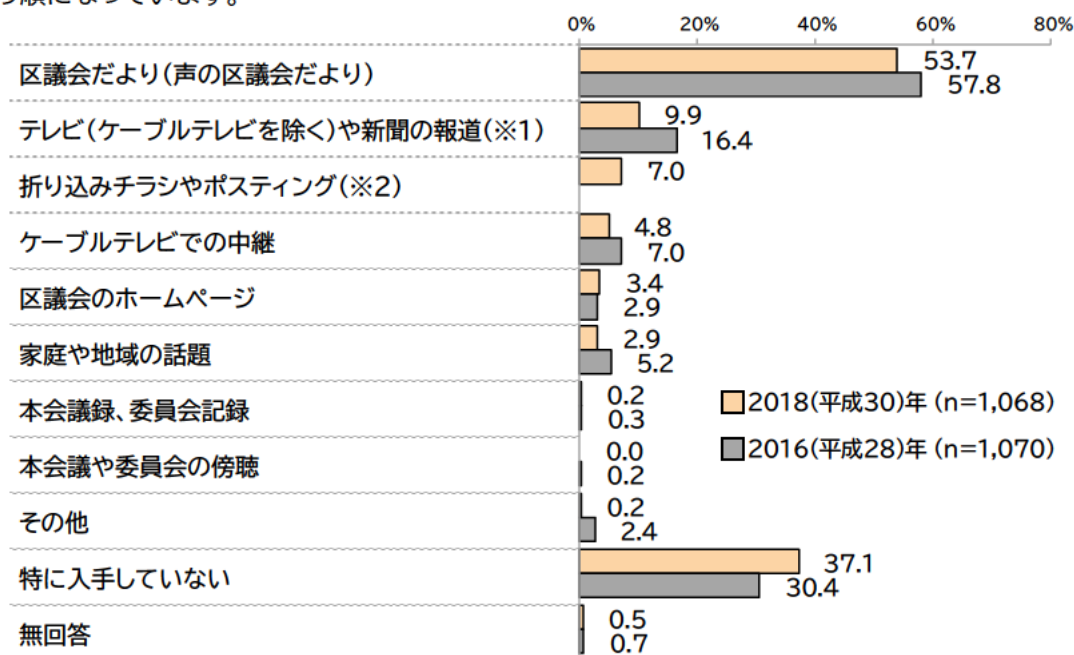
区議会への関心をたずねたところ、「大いにある」(5.8%)と「ある」(15.3%)と「少しある」(28.3%)を合わせた『ある』計は49.4%となっています。



■ 区議会情報の入手先

入手先は「区議会だより（声の区議会だより）」が最も高く5割台半ば

区議会情報の入手先をたずねたところ、「区議会だより(声の区議会だより)」が53.7%と最も高く、次いで「テレビ(ケーブルテレビを除く)や新聞の報道」(9.9%)、「折り込みチラシやポスティング」(7.0%)という順になっています。



(※1)「テレビ(ケーブルテレビを除く)や新聞の報道」は2016(平成28)年調査では「テレビや新聞」

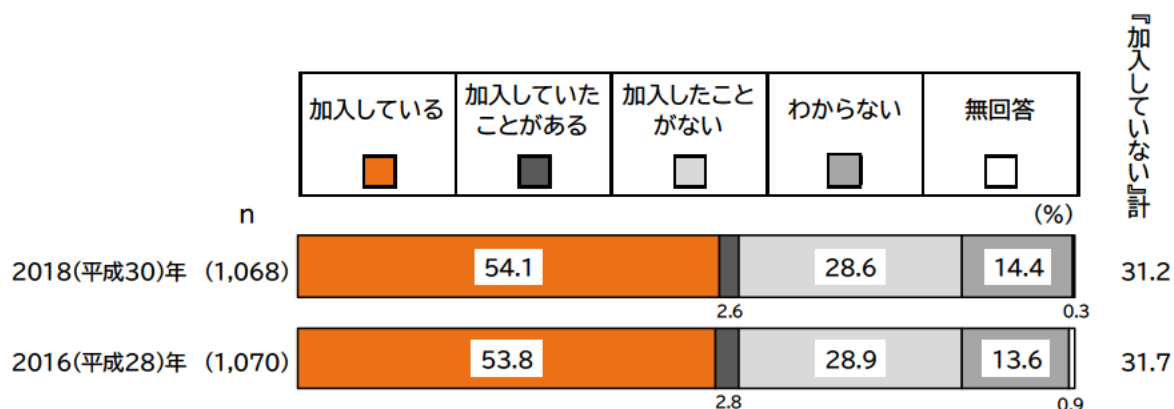
(※2)「折り込みチラシやポスティング」は2018(平成30)年調査より追加した項目

6 地域活動への参加について

■ 町会・自治会の加入状況

半数以上が「加入している」と回答

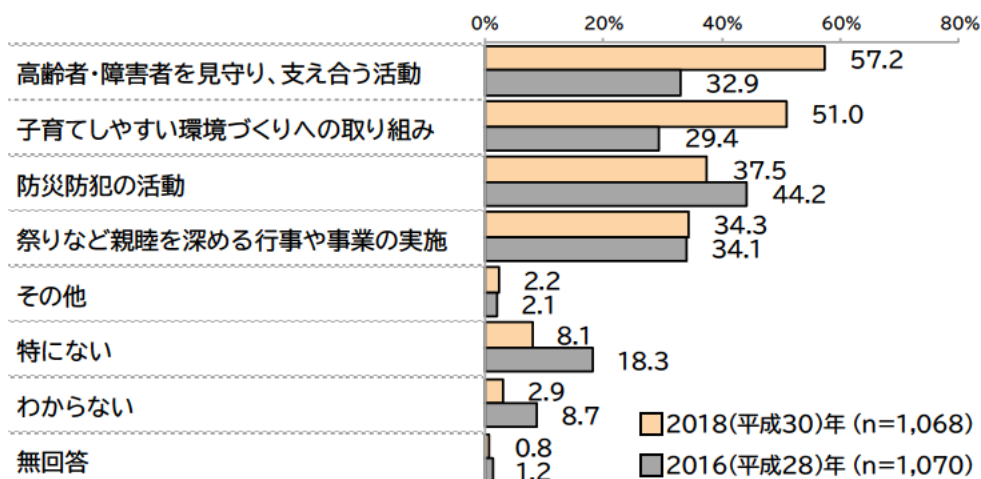
町会・自治会の加入状況をたずねたところ、「加入している」が54.1%となっています。一方、「加入していたことがある」(2.6%)と「加入したことがない」(28.6%)を合わせた『加入していない』は31.2%となっています。



■ 町会・自治会に期待すること

「高齢者・障害者を見守り、支え合う活動」が6割弱

町会・自治会に期待することをたずねたところ、「高齢者・障害者を見守り、支え合う活動」が57.2%と最も高く、次いで「子育てしやすい環境づくりへの取り組み」(51.0%)、「防災防犯の活動」(37.5%)という順になっています。



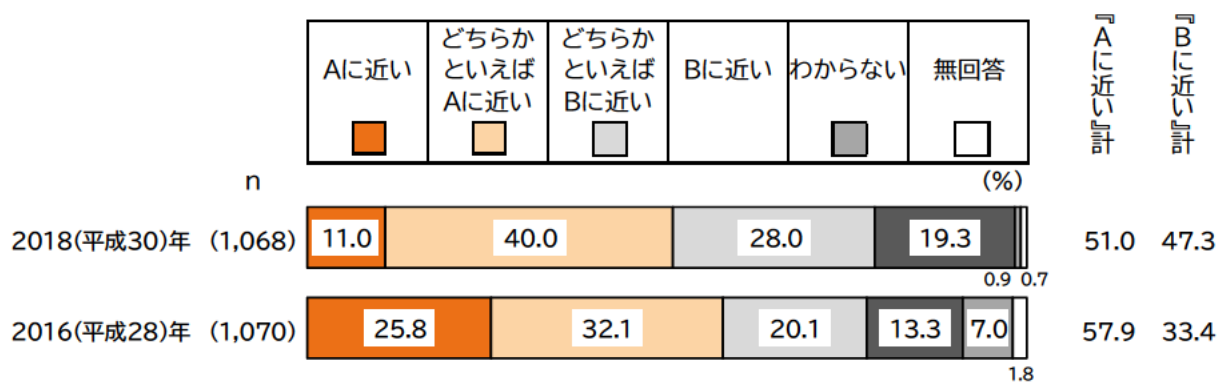
7 環境について

■ 環境保全と経済の発展や生活の利便さの優先度

「経済コストがかかっても、地球環境に負荷（負担）の少ない生活スタイルを選ぶ」人が5割強

環境保全と経済の発展や生活の利便さの優先度をたずねたところ、「Aに近い」が11.0%で、これに「どちらかといえばAに近い」(40.0%)を合わせた『Aに近い』計は51.0%となっています。一方、「Bに近い」(19.3%)と「どちらかといえばBに近い」(28.0%)を合わせた『Bに近い』は47.3%となっています。

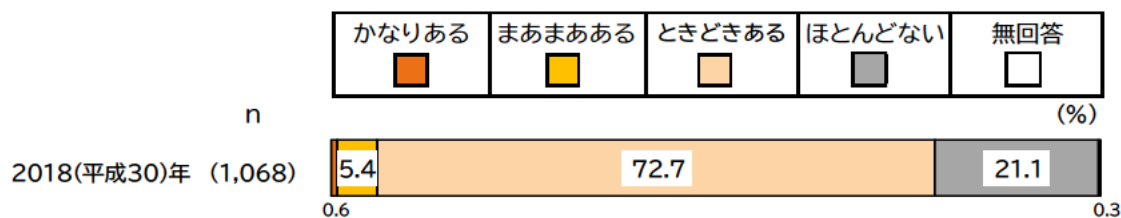
- A 経済コストがかかっても、地球環境に負荷（負担）の少ない生活スタイルを選ぶ
B 地球環境の大切さはわかるが、利便さ・安さを優先させる



■ 家庭で食品がまだ食べられるのに捨ててしまうこと

捨ててしまうことが「ときどきある」は7割強、「ほとんどない」は約2割

家庭で食品がまだ食べられるのに捨ててしまうことがあるかをたずねたところ、「ときどきある」が72.7%で最も高く、次いで「ほとんどない」が21.1%となっています。

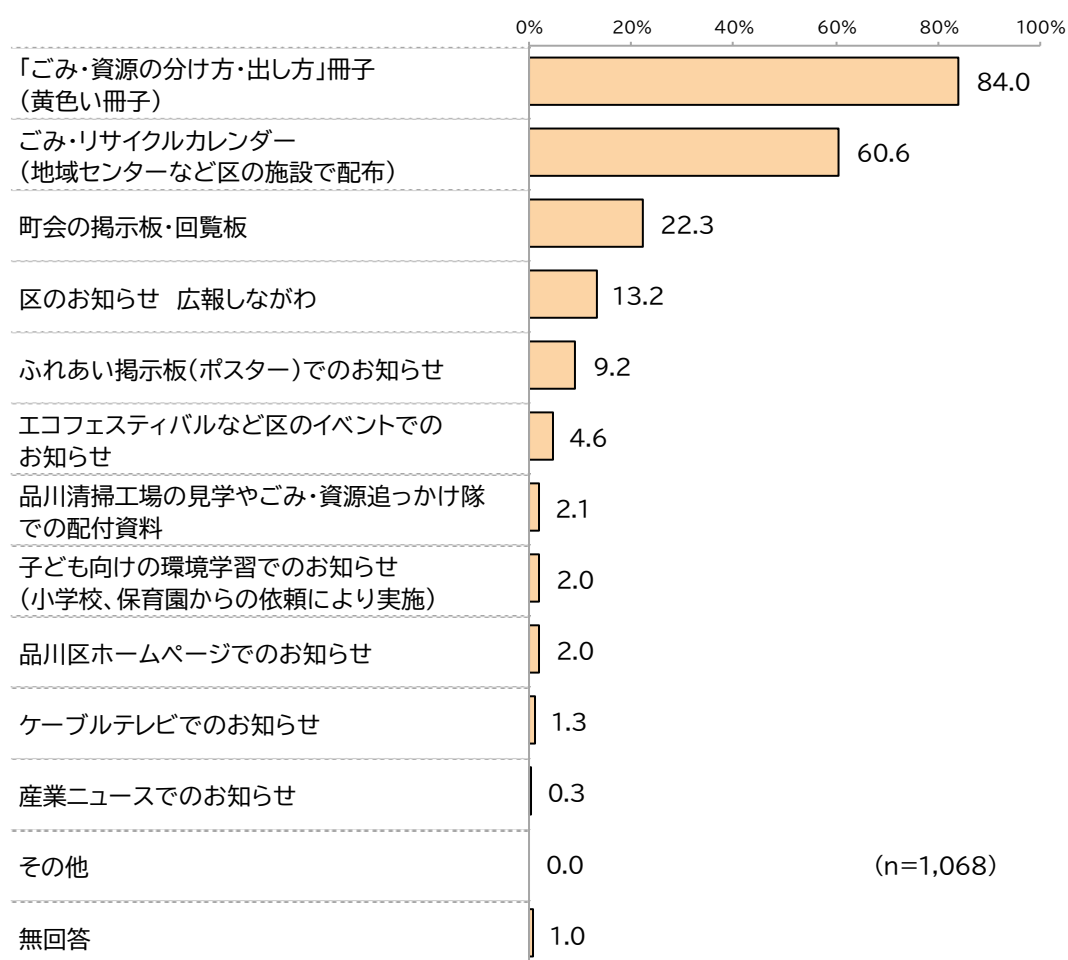


8 ごみ減量・リサイクルについて

■ 目にしたことのあるごみ・リサイクルに関する情報媒体

「ごみ・資源の分け方・出し方」冊子（黄色い冊子）が8割台半ば

過去2年間で、区が行っているごみ・リサイクルに関する情報について目にしたことのあるものをたずねたところ、「『ごみ・資源の分け方・出し方』冊子（黄色い冊子）」が84.0%で最も高く、次いで、「ごみ・リサイクルカレンダー（地域センターなど区の施設で配布）」（60.6%）、「町会の掲示板・回覧板」（22.3%）という順になっています。

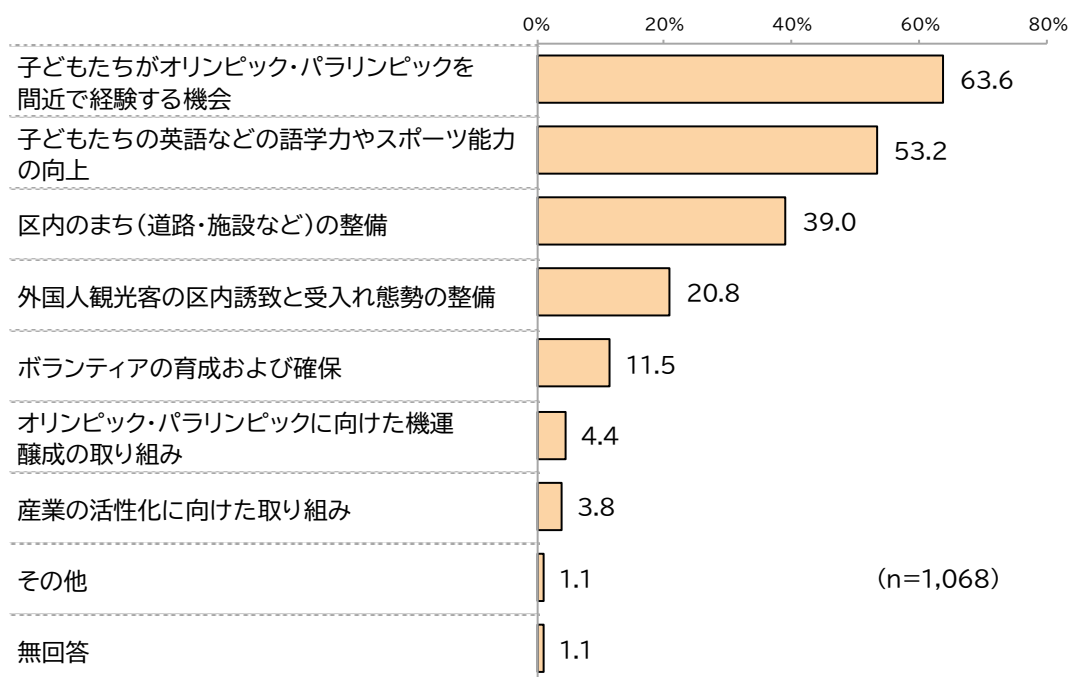


9 オリンピック・パラリンピックについて

■ 大会開催までに必要なこと、大会後に必要だと思うこと

子どもたちの経験や能力向上といった項目が上位に

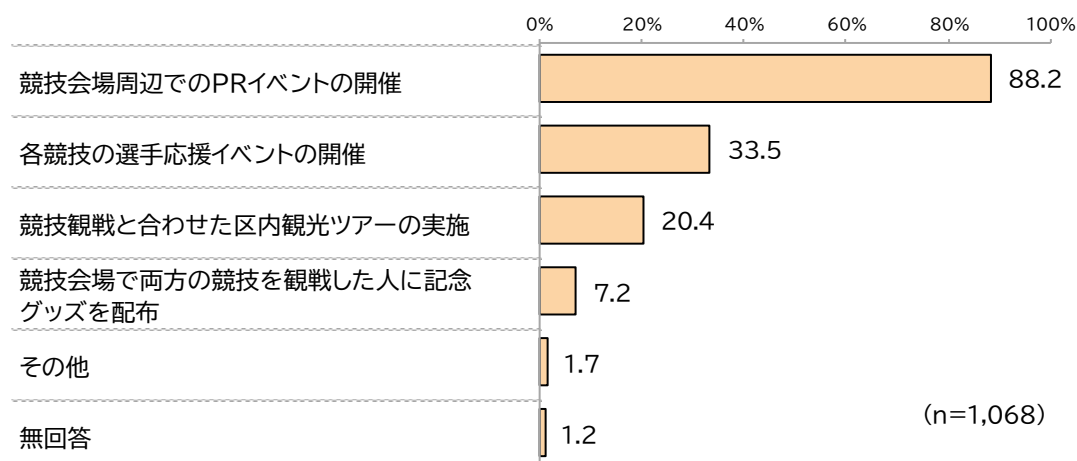
大会開催までに必要なこと、大会後を見据えて必要だと思うことをたずねたところ、「子どもたちがオリンピック・パラリンピックを間近で経験する機会」が63.6%と最も高く、次いで「子どもたちの英語などの語学力やスポーツ能力の向上」(53.2%)、「区内のまち(道路・施設など)の整備」(39.0%)という順になっています。



■ 競技会場を観客で満員にするのに効果的だと思う方法

「競技会場周辺でのPRイベントの開催」が9割

競技会場を観客で満員にするのに効果的だと思う方法をたずねたところ、「競技会場周辺でのPRイベントの開催」が88.2%と最も高く、次いで「各競技の選手応援イベントの開催」(33.5%)、「競技観戦と合わせた区内観光ツアーの実施」(20.4%)という順になっています。

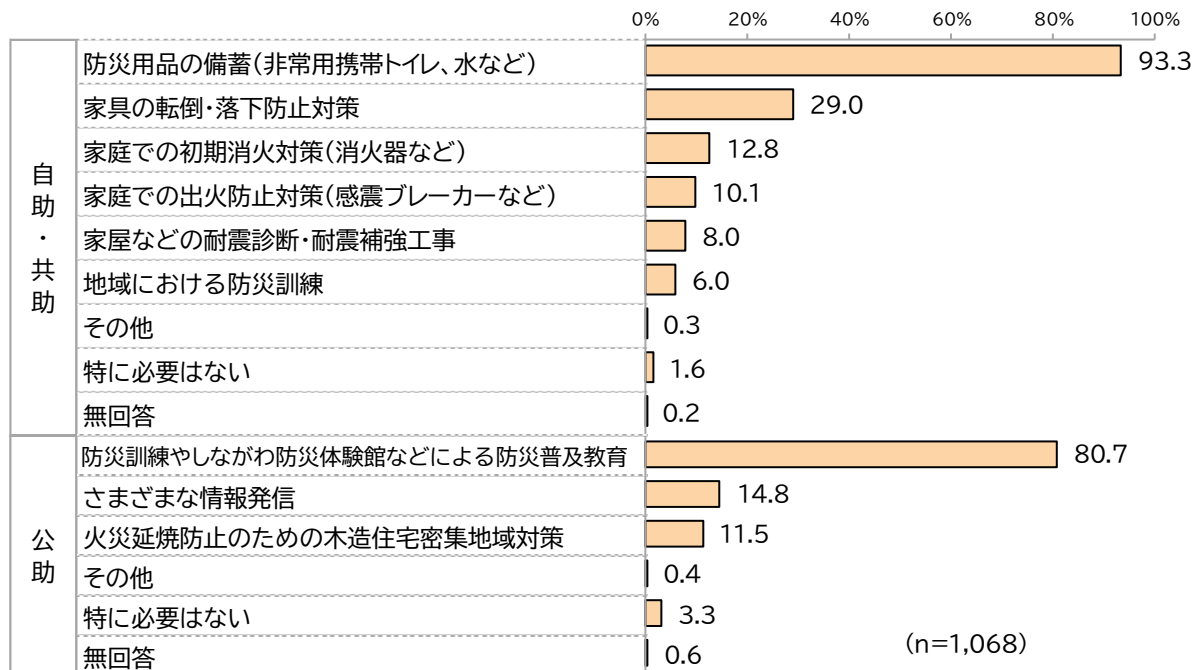


10 防災について

■ 今後充実すべき防災対策

〈自助・共助〉は「防災用品の備蓄」、〈公助〉は「防災普及教育」

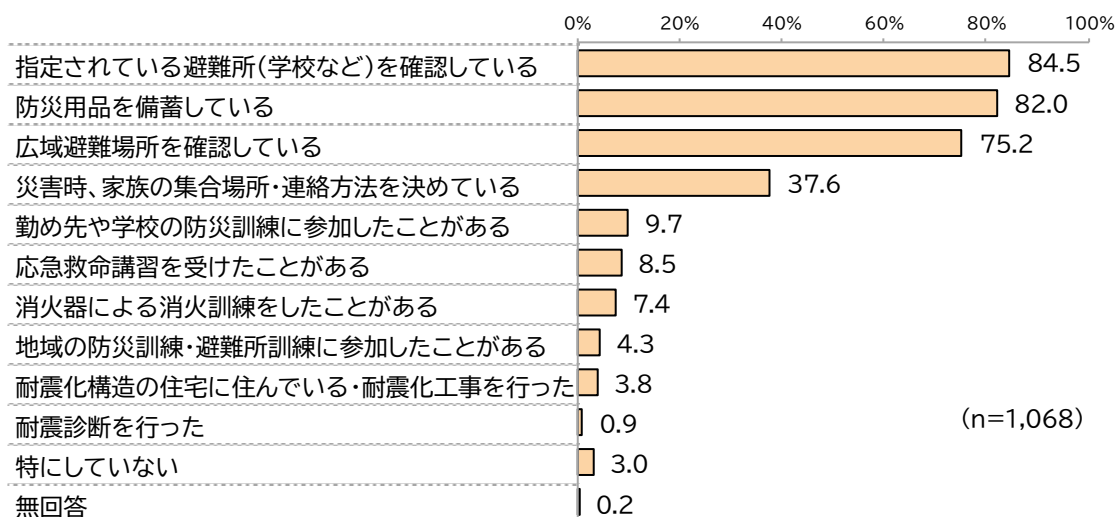
今後充実すべき防災対策についてたずねたところ、〈自助・共助〉では「防災用品の備蓄(非常用携帯トイレ、水など)」が93.3%と最も高く、次いで「家具の転倒・落下防止対策」(29.0%)という順になっています。〈公助〉では「防災訓練やしながわ防災体験館などによる防災普及教育」が80.7%と最も高く、次いで「さまざまな情報発信」(14.8%)という順になっています。



■ 防災に関して既に行っていること

「指定されている避難所(学校など)を確認している」が8割台半ば

防災に関して既に行っていることをたずねたところ、「指定されている避難所(学校など)を確認している」が84.5%と最も高く、次いで「防災用品を備蓄している」(82.0%)、「広域避難場所を確認している」(75.2%)という順になっています。



11 読書と図書館利用について

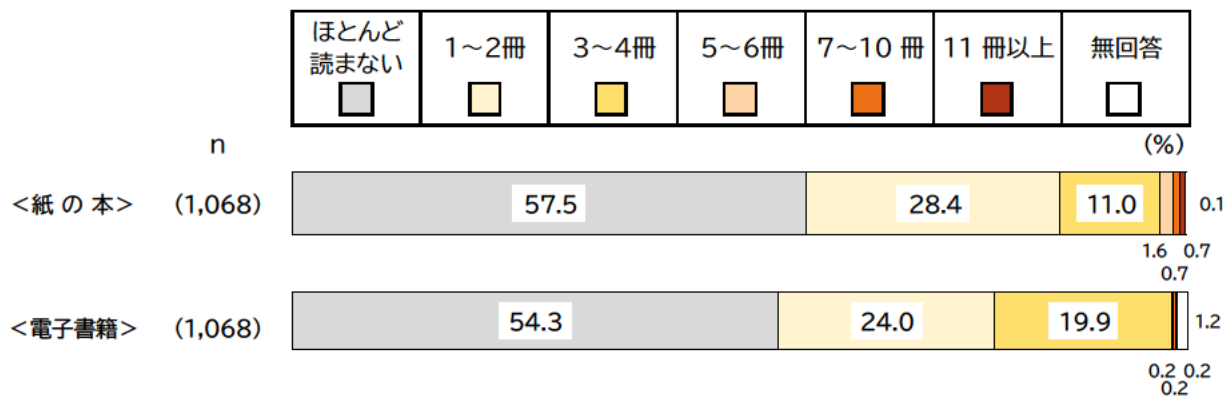
■ 1カ月の読書量

<紙の本>「ほとんど読まない」が半数以上、「1～2冊」が3割

<電子書籍>「ほとんど読まない」が半数以上、「1～2冊」が2割台半ば

1カ月の読書量をたずねたところ、<紙の本>では「ほとんど読まない」が57.5%となっています。「1～2冊」は28.4%、「3～4冊」は11.0%となっています。

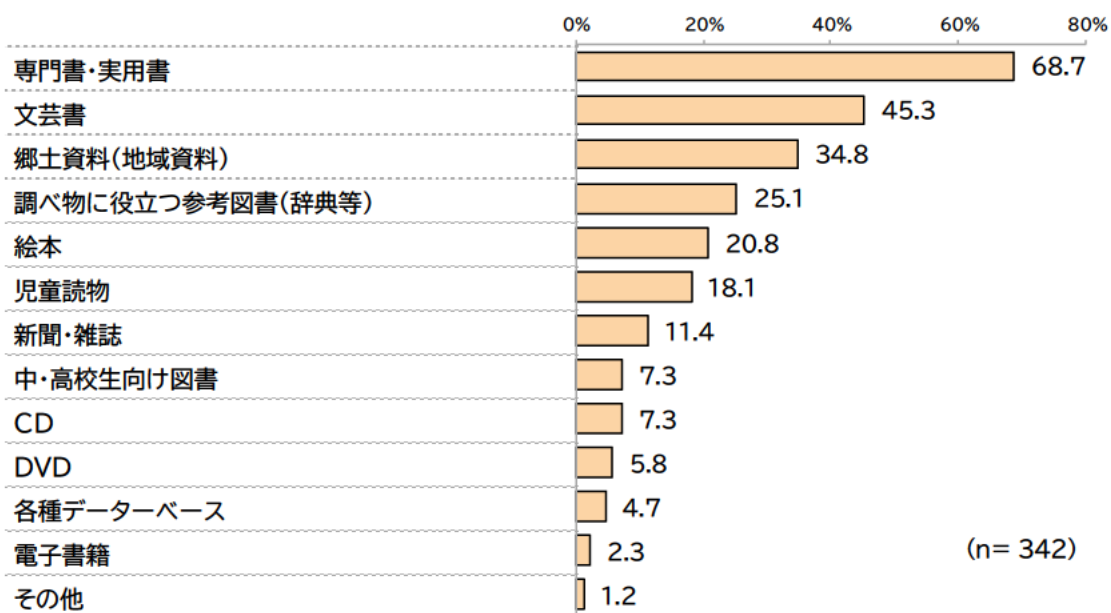
<電子書籍>では「ほとんど読まない」が54.3%となっています。「1～2冊」は24.0%、「3～4冊」は19.9%となっています。



■ 区立図書館に望む所蔵資料

「専門書・実用書」が7割、「文芸書」が4割台半ば

区立図書館に望む所蔵資料についてたずねたところ、「専門書・実用書」が68.7%と最も高く、次いで「文芸書」(45.3%)、「郷土資料(地域資料)」(34.8%)という順になっています。



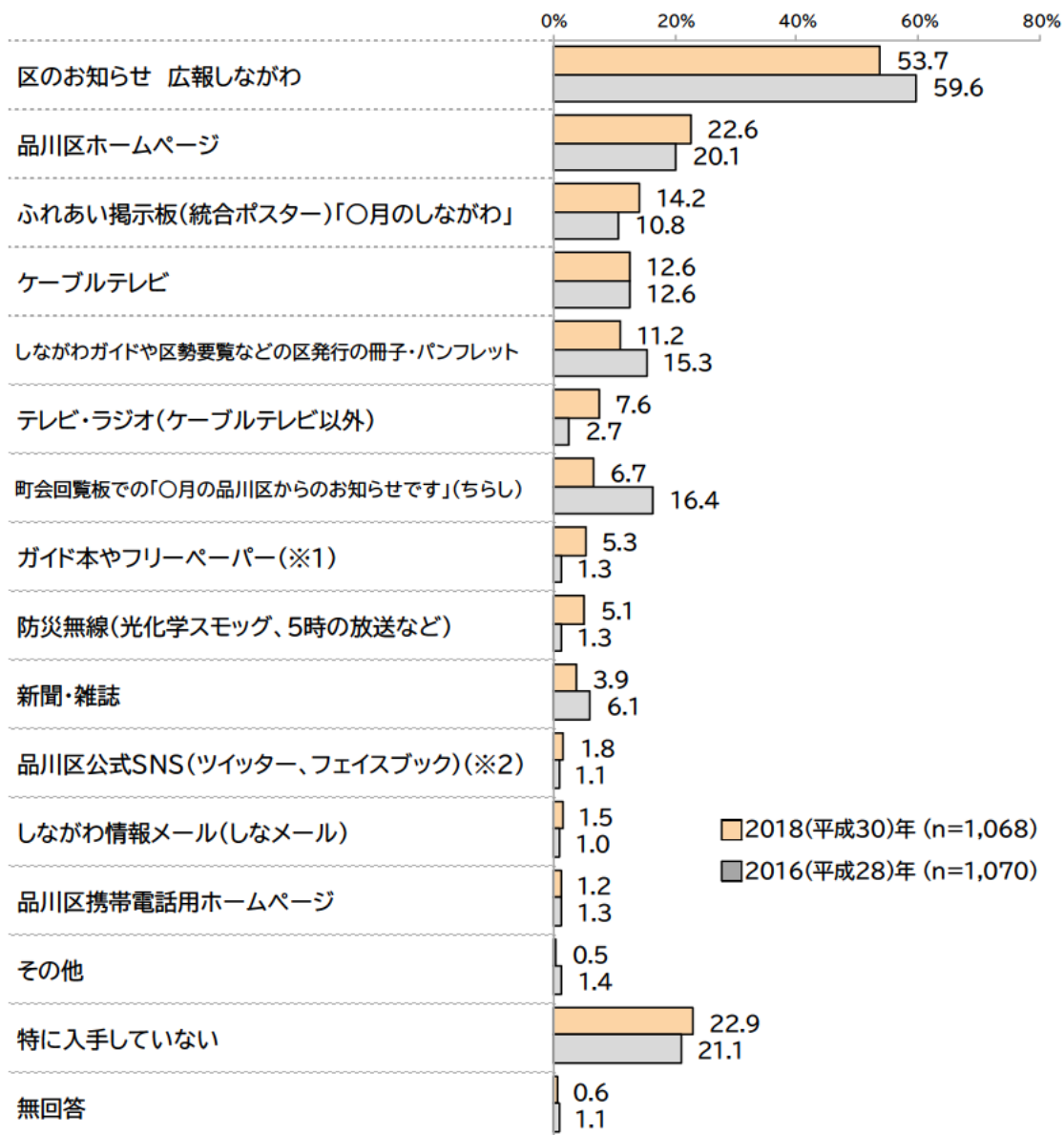
(回答者のうち、所蔵資料の充実を望む人を対象に集計)

12 広報と情報化について

■ 区に関する情報の入手先

「区のお知らせ 広報しながわ」が5割半ば、「品川区ホームページ」が2割強、「ふれあい掲示板(統合ポスター)『〇月のしながわ』」が1割台半ば

区に関する情報の入手先をたずねたところ、「区のお知らせ 広報しながわ」が53.7%と最も高く、次いで「品川区ホームページ」(22.6%)、「ふれあい掲示板(統合ポスター)『〇月のしながわ』」(14.2%)という順になっています。



(※1)「ガイド本やフリーペーパー」は2016(平成28)年調査では「ガイド本やミニコミ誌」

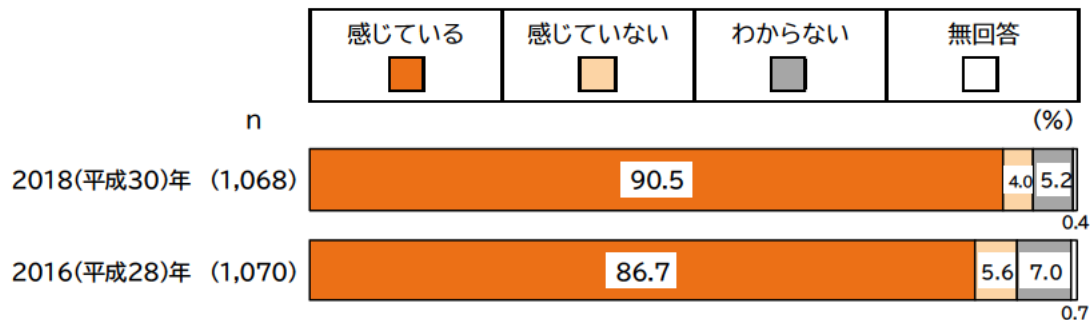
(※2)「品川区公式SNS(ツイッター、フェイスブック)」は2016(平成28)年調査では「品川区ツイッター」

13 シティプロモーションについて

■ 品川区への愛着や親しみ、誇り

『感じている』が9割

品川区に愛着や親しみ、誇りを感じるかたずねたところ、「感じている」(40.9%)と「どちらかといえば感じている」(49.6%)を合わせた『感じている』計は90.5%となっています。一方、「どちらかといえば感じていない」(2.2%)と「感じていない」(1.8%)を合わせた『感じていない』計は4.0%となっています。

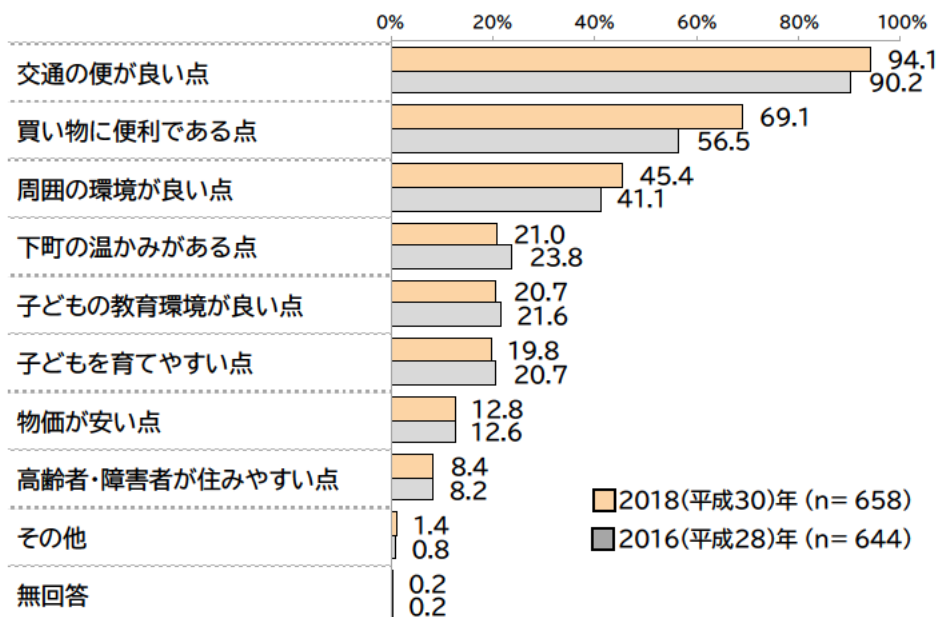


※2016(平成28)年調査の数値は、「品川区に愛着や親しみを感じていますか」という設問に対する回答割合

■ 品川区の薦めたい点

「交通の便が良い点」が9割台半ば、「買い物に便利である点」が約7割

品川区を友人・知人に『薦めたい』と回答した人に、品川区のどんな点を薦めたいかたずねたところ、「交通の便が良い点」が94.1%で最も高く、次いで「買い物に便利である点」(69.1%)、「周囲の環境が良い点」(45.4%)という順になっています。



第23回品川区世論調査 要約版
2019(平成31)年1月



発行 品川区企画部広報広聴課
品川区広町2-1-36
03(5742)6643(直通)

実施 株式会社タイム・エージェント
東京都渋谷区円山町6-8
03(3770)6821(代表)